

# Minami Kyushu University Junior college Syllabus

シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	国際教養学科				
科目名称	薬理の知識					授業形態	講義		
科目コード	531103	単位数	4単位	配当学年	2	実務経験教員		アクティブ ラーニング	
担当教員名	木村 貴信							ICT活 用	
授業概要	<p>医師、薬剤師、看護師等が本来の業務に徹することができるように、パイプ役として活躍できる人材を養成する。そのためには「薬」の知識は切っても切り離せないものである。専門学校であれば、認定試験の合格を第一目標とすることもかまわないが、本学では実践で役立てることができるような「薬」の知識をしっかりと身につけることを目指す。</p>								
関連する科目	医療事務								
授業の進め方 と方法	<p>テキストをもとにして、実例を交えながら進める。これにより、薬物に関する理論的な知識と実践的なスキルを結びつけ、将来の医療環境で効果的に活用できるようになる。</p>								
授業計画 【第1回】	医療用医薬品・一般用医薬品・健康食品の違い								
授業計画 【第2回】	西洋薬と漢方薬との違い								
授業計画 【第3回】	ジェネリック医薬品とは何か								
授業計画 【第4回】	投与方法はなぜいろいろあるのか								
授業計画 【第5回】	剤形の特徴は何か								
授業計画 【第6回】	薬は身体の中をどのように運ばれていくのか								
授業計画 【第7回】	服用時期はなぜいろいろあるのか								
授業計画 【第8回】	薬はどのようにして効果を発揮するのか								
授業計画 【第9回】	薬の飲み合わせによる影響はどのようなものがあるのか								
授業計画 【第10回】	嗜好品の薬への影響								
授業計画 【第11回】	副作用はなぜ生じるのか								

授業計画 【第12回】	投与する際に注意が必要な患者（高齢者の場合）
授業計画 【第13回】	投与する際に注意が必要な患者（小児の場合）
授業計画 【第14回】	投与する際に注意が必要な患者（妊婦の場合）
授業計画 【第15回】	投与する際に注意が必要な患者（授乳婦の場合）
授業計画 【第16回】	心臓や血管に作用する薬
授業計画 【第17回】	消化性潰瘍治療薬
授業計画 【第18回】	便秘治療薬・下痢治療薬
授業計画 【第19回】	気管支喘息治療薬
授業計画 【第20回】	かぜ治療薬
授業計画 【第21回】	糖尿病治療薬
授業計画 【第22回】	痛風治療薬
授業計画 【第23回】	脂質異常症治療薬
授業計画 【第24回】	細菌感染症治療薬
授業計画 【第25回】	ウイルス感染症治療薬
授業計画 【第26回】	うつ病治療薬
授業計画 【第27回】	睡眠薬
授業計画 【第28回】	認知症治療薬

授業計画【第29回】	がんに作用する薬（抗がん剤）
授業計画【第30回】	その他の病気に用いる薬
授業の到達目標	どうして薬学を学ばなければならないかを理解したうえで主要な医薬品の成分、特徴を覚える。 また、その医薬品を服用したとき、身体の中でどのような作用が起こっているのかを理解する。
学修成果との関連	1. 自ら考える能力を有する。
授業時間外学習【予習】	「指定した教科書を事前に熟読し、次回の講義内容を把握する」（30分程度）
授業時間外学習【復習】	「授業終了後に示す課題についてレポートを作成する」（30分程度）
課題に対するフィードバック	採点後のレポートに修正点を明記して返却する。
評価方法・基準	定期試験 80% 課題提出 10% 受講態度 10%
テキスト	日本医師会監修「医療秘書講座2 身体の構造と機能 臨床検査と薬の知識」メヂカルフレンド社
参考書	中原保裕著「薬のはたらきを知る やさしい薬理のメカニズム」学研メディカル秀潤社
備考	調剤薬局で薬剤師としての実務経験を有する教員が授業を担当